

優秀賞



1038の空間

—日常と非日常をつなぐ建築—

長瀧侑汰さん（日本文理大学）

世界的な植物学者である牧野富太郎氏所縁の地である高知県佐川町は私の故郷である。

朝ドラ「らんまん」放映後、観光産業に力を入れているが、宿泊場所の少なさや地域文化継承の不十分さ、地域住民と訪れた観光客の交流の少なさから生まれる、地元の魅力を感じない若者の地域離れが問題となっている。そこで、本計画では地域住民と観光客が有機的に繋がる場を創出することで、佐川が抱える課題解決に繋がるのではと考えた。

計画地は、住民や観光客が佐川で最も行き交う場である佐川駅周辺とした。提案する建築は、CO2削減や地域の林業活性化等が期待できることから、佐川町産・高知県産の木材を使用した木質構造とし、地域資源について学べる図書館とともに、そこにつながる観光客が駅から直接アクセス可能な宿泊施設とした。

分棟型にし、互いの空間の在り方を尊重しながらも、住民と観光客が互いの施設を利用することで交流を生み、新たな繋がりを生む空間構成としている。



日本文理大学 長瀧 侑汰さん